

頑張れ九里！^{くのり}

九里学園高校部活動後援会

NO. 10 1999. 7.



強豪南陽高校を破り、

3年ぶりに国体県予選会に出場した、ソフトボール部……

高橋佐和明新監督を迎へ、今後の活動に期待が持てる。

力の可能性に 皆ながら一丸となつて



部活動後援会会長

鈴木芳昭

男子入学を期に、学校名も九里学園高等学校と、又理事長先生が勲三等瑞宝章を受章され、輝しい幕開けでスタート致しました。

名誉ある今年度でもあります。この意義ある節目の年に部活動後援会長を仰せつかりました。PTA及び関連各位の方々の御協力で部活動後援会が平成七年度に発足しました。以来、他には法人関係の方、更には九里に御縁のある多くの方々等の暖かい御支援と御協力を頂き、今日に至つております。その中で生徒達は、素晴らしい成績で各方面で頑張っております。又、各遠征時には大型マイクロバスの所有、諸施設・設備・備品に対する強化についても部活動後援会の充実が第一となる訳であります。過日も関連の会合がありました折、県内私学の様々な運営方法、各校の部活動に対する熱心な支援の実態を、様々伺つて参りました。当学園の場合も同じく皆なが一丸となつて取り組んで行かなければならぬと感じました。生徒達が高校という集団

の中で、人間形成の為の基礎的な大切なステップの三年間、部活動を通して又学園での全体の生活の下で自己の大の力の可能性を發揮できる場となる様な器を、作つてやる事が私達後援会の使命だと実感しております。様々な生活を通してやがては地域の為に貢献できる若者の育成の為、先生方には何かと熱心に御指導を頂いております事に感謝致しております。

又その様な御指導の下、今年度男子生徒入学により新たな生活の中で力溢れる挑戦の場より自信をつけて更に大きく活動の展開ができる様に期待したいと思います。保護者の皆さんにしっかりと手をとり合い、部活動後援会への幅広い御協力を賜ります様、なお引き続き御支援を、重ねてお願い申し上げる所でございます。



九里の力を全国に発進しよう



学校長

九里廣志

新学期が始まつて間もなくの四月二十三・二十四日の両日、「藤井・高野杯」という県内の高校生オーブンのバスケットボール大会がありました。四月に入学したばかりの男子生徒たちが、さつそくこの大会に出場しました。入学以前から、奨学生や推薦生で合格した生徒たちは、一緒に練習を始めていたとはいえ、男子生徒たちは、入学直後から「ハワイ研修」でした。ハワイで、寄宿したハワイ・ブレバトラリーアカデミーのバスケット部員と交流試合をしてきたと言え、帰国したのがその三日前という状態ですから、果してどうなるのか、不安材料一杯の大会でした。

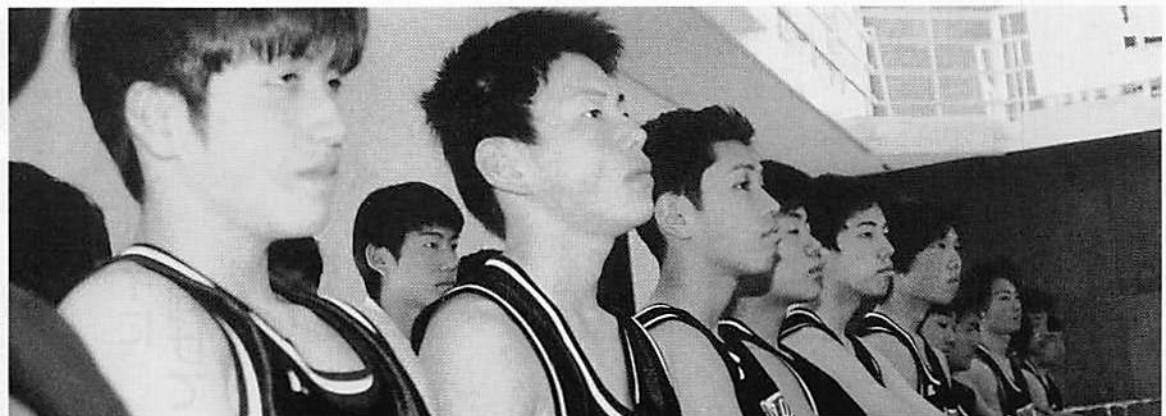
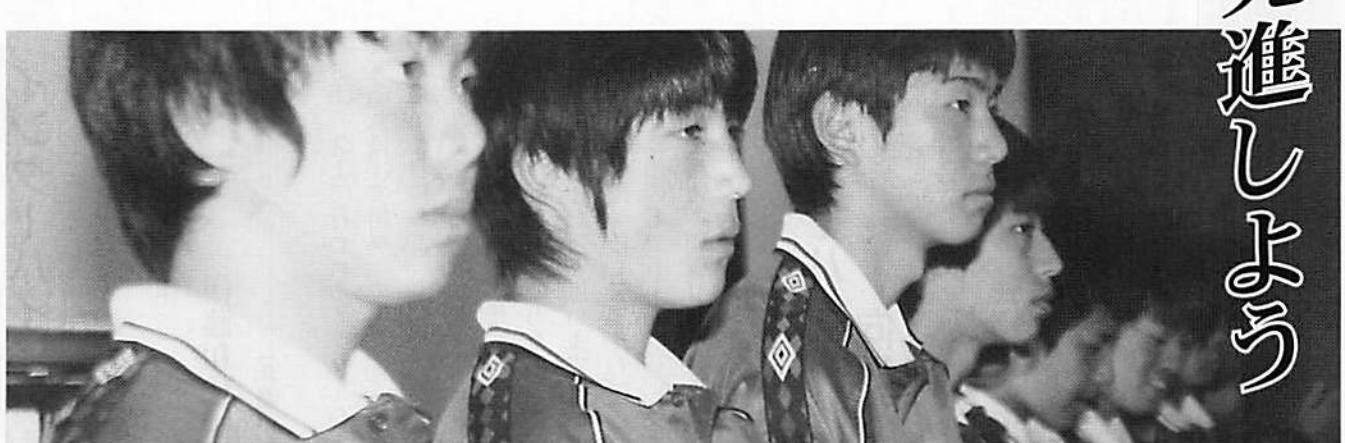
相手は庄内総合高等学校。二・三年生を中心としたチームです。まるで大人と子供のような違いが、練習中の雰囲気にものぞいています。わざわざ有給休暇をとつてまで応援に来てくださった保護者の方々も、わが子の初舞台を見る目には、不安を隠しきれない思いが見て取れます。いよいよ試合開始です。

真新しい『KUNIORI』のユニークなフォームが、コート内を走り回ります。一進一退の試合展開です。一年生チームとは思えないような、堂々とした戦いぶりです。何と、九里学園リードでの試合展開です。一時は十数点のリード。ひょっとしてという期待感が応援する皆の心によぎります。でもさすが二・三年生の頑張りで、点差はみるみるうちに縮まって行きます。本校生徒の気力・体力も、旅の疲れもあってか、次第に衰えて来たよう見えます。

コーチの檄と指示。奮い立つ生徒たち。最後は三点差で初勝利を勝ち取りました。新生九里学園男子バスケットボール部の鮮やかなスタートです。

第二試合目は、第一シード・県チャンピオンの日大山形高等学校です。第一試合の疲れもあってか、惨敗でした。しかし、高校の全国レベルの力を感じ取ってくれたことと思います。

サッカー部も、十一名と少数ではあります、良いスタートを切りました。



23年連続出場

インターハイ出場に
向けて

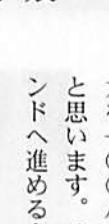


顧問
本田 米子



二年
(赤湯中)
伊藤和代娘

三年
(小国中)
酒井 恵



インターハイに
向けて

インターハイに 向けて



二年
長沼 史子
(米沢1)

岩手の北上で行われるインターハイに、砲丸投げで出場してきます。今まで常に上を目指して、全国でも通用するような技術や精神的な強さを身につけるよう努力してきました。インターハイという大舞台でその力を出し切り、自分を試してみたいと思います。

先生方や仲間、そして「やればできる」という部のモットーを信じ、今までの自分を超える頑張りをしてきます。応援よろしくお願いします。

今年の陸上部の目標は、県高校総体七連覇、インターハイ二十三年連続出場を果たすこと、全国高校女子駅伝に出場すること等を目標にスタートしました。第一の目標は、二年生のエースが故障で欠場しながらも、各種目に入賞し、同点までこぎつけましたが、優勝数の差で惜敗、その後、ショックをうけている暇もなく、第二目標を果たすべくインターハイの最終関門である東北大会に十五名、二十一種目の出場で臨みました。会場は、今年のインターハイ会場となる岩手県北上市総合運動公園陸上競技場で開催され、同会場では、何回かの合宿をしており、選手達の調整も含めて不安材料も少なく思ひきり、伸び伸びと競技するだけでした。結果は、四〇〇Mに酒井恵(三年)、八〇〇Mに長沼史子(二年)、砲丸投に伊藤和代娘(二年)の三名が入賞し、インターハイの切符をとり、二十三年連続インターハイ出場を決めました。インターハイでは、校名変更となつた九里学園高校をアピール出来るよう、更に向ふに努め、自己の力を十分發揮させ、悔いのないインターハイにしたいと思います。

私は今回、八〇〇mでインターハイに出場できることになりました。去年までの私にはインターハイという、夢のような話でした。しかし、冬期練習を越え、今年に入ると走ることに自己新を出していき、東北大会でイン

ターハイ出場を決める事ができました。出場するからには、全国でどれくらい通用するのか冒険する心を持ち自分の力を一〇〇パーセント發揮してたいと思います。そして一つでも上のラウンドへ進めるよう、がんばってきます。

インターハイに
向けて

インターハイに 向けて



三年
(小国中)
酒井 恵

今回、四〇〇Mでインターハイに出場することになりました。四〇〇Mは昨年のインターハイで悔しい思いを経験しているので今年は、今までの経験を生かし、失敗をおそれずに走りたいと思います。自分の大きな目標としている56秒台で走り入賞をめざします。九里の取り組みに自信をもち、「やればできる」を信じて走れない仲間の分も精一杯走つて大舞台で花を咲かせます。応援よろしくおねがいします。



陸上部

インターハイ



▲酒井選手



▲伊藤選手

▼長沼選手



第23回全国高等学校総合文化祭



来る、七月三十日から八月三日、山形県を会場に、全国高文祭が開催される。全国の高校生が芸術文化活動をとおし、交流や親睦を図る。しかし、厳しい予選や審査を経て出場、出品するものが多くあり、全国レベルのものにふれるすばらしいチャンスである。

本校からも、書道部や吹奏楽部をはじめとして、たくさんの生徒が様々な分野で参加する。



書道部顧問
須藤喜美子

全国高文祭に 寄せて

書した。書体は草隸で、終筆の波勢が特徴だが、彼女らしい穏やかな中に若い命あふれる作になった。

歓迎の企画展の芭蕉『奥の細道』には、三年佐々木未来、二年安部恵が有

名な「出羽三山」と「最上川」を分担

した。また、米沢出身の書聖『宮島詠士』は4尺×8尺の大作を三年佐藤ひ

とみと大木裕子の二人で書き、空を切るスケールの大きな詠士の書風を伝えている。さらに米沢織に書いた広介の共同作品『むくどりの夢』は、三年遠

藤京子・田村香織・遠藤仁美があたり、置賜地区五校の中心的立場でよく書きよく動いた。お陰で楽しいオブジェができる。

又、吟詠剣詩舞部門には、二年小出香織・多勢明美・行方友美が構成吟

『いま詠う、出羽の豊かな抒情』の中で布川碧雲作「最上川」を吟に合わせてステージで書く。失敗は許されない一発勝負のため最後の調整に入った。

その他、交流会の挨拶やリーダーとしての当日の出番も多い。部員一同「感動の大きい参加をしよう」とがんばってきた。保護者の応援体制も充分であ

る。その日が近い。顧問として共に楽しみたいと思っている。

三年佐藤ひとみは、県を代表しての出品である。レベルの高いものをと合宿して仕上げた作品は『木簡』。幅10cm長さ132cmの木札五枚に中国漢代に書かれ遺跡から出土した「居延漢簡」を臨

の高校生の雰囲気がとても盛り上がっています。私もそんな雰囲気にふれることによって、自分も頑張らなくては

とう気持ちにさせられました。全国レベルの作品がたくさん集まるので、

どうぞご覧下さい。

書道部門



佐藤ひとみ
(上郷中)

七月三十日(金)～八月三日(火)にかけて山形県体育館において、全国高等学校総合文化祭書道部門の作品展覧会が開催されます。

昨年、県高文祭で総合文化祭賞を頂き、今年も全国高文祭に出品することができます。出品した作品は、「木簡」といつて木に書くものです。

木に書くのは初めてで、終筆の波勢を出すのが難しく、筆をどう使えばいいかとても悩みました。けれども、自分が思っていた以上の作品に仕上がり、県の代表作品としての役目を果たせたようではホッとしています。

地元で全国高等学校総合文化祭が開催されるのは、

四十七年に一度です。そういう合同バンドを作ります。九里学園から置賜地区の各高校から代表が集まり、

はクラリネットに三年朝井鮎子・佐藤麻美、ホルンに三年遠藤亞希の四名が代表として、他校の人と一緒に演奏をします。曲は「威風堂々」「ガーシュイン」です。

他校の代表の人たちも三年生なので、

吹奏楽部門



遠藤 亜希
(米沢1)

私達の出場する「吟詠剣詩舞部門」は、八月一日に米沢市市民文化会館を会場として発表が行われます。

吟詠剣詩舞は、吟じられる詩歌に合わせて、刀や扇子を使って舞う剣詩舞、その詩歌を書く書道吟などがあります。今回の大会では、これらを組み合せた構成吟をします。

その中で、本校書道部の小出香織さん（二年）と多勢明美さん（二年）が書道吟に書士として参加します。私は剣舞に吟士として出場します。

約一年前から、米沢工業高校の吟詠剣詩舞部の人達や高文祭吟詠剣詩舞部門生徒実行委員の人達との大会に向けて練習をしてきました。四月からは



三年

安彦美穂子
(漆山中)

吟詠剣詩舞部門

高文祭に出場してよかったです。と思えるように、いい演奏をし、いい思い出をつくれるよう頑張ります。そして、全国の代表の演奏を聞いて勉強していると思います。



三年

中嶋佳子
(高畠4)

ストリングアンサンブル部

合宿や強化練習会もあり、県の代表として、他県に負けないような演奏をしなければという思いもじょじょに出てきました。昨年の大会より、素晴らしい演舞ができるようになります。



三年

鈴木純子
(米沢6)

茶道部

三、四楽章を演奏する予定です。本番は今まで練習してきた成果を發揮して最高の演奏をしたいと思っています。



本校生徒の活動

部門・会場・期日	主な活動・生徒名
書道部門 山形県体操館 天童市民文化会館	ボボロの四階「ギャラリー・ドリーム」で、置賜地区的茶道部の仲間と共に呈茶席を設けます。
吹奏楽部門 米沢市体育館	一昨年から今回の大谷高校総合文化祭山形大会を目標に日々の練習に励んできました。体育系のクラブと違つて私達茶道部が全国の大会に参加できるチャンスはめったにありません。それは大変幸運なことだと思うとともに、次第に緊張感が高まって来ています。
音楽部門 米沢市民文化会館 山形県民会館 山形市立美術館	その中で、本校書道部の小出香織さん（二年）と多勢明美さん（二年）が書道吟に書士として参加します。私は剣舞に吟士として出場します。
新聞部門 文芸部門 遊学館 茶道 ボボロ	約一年前から、米沢工業高校の吟詠剣詩舞部の人達や高文祭吟詠剣詩舞部門生徒実行委員の人達との大会に向けて練習をしてきました。四月からは

子）と二年・丹野孝子の二人ですが、部員全員が本番にむけて練習し、準備にあたってくれます。そして、私達の練習を直接みてくださる大石喜子先生からも、小さいことにこだわらず、高校生らしく若々しいお点前をするよう心を込めておいしいお茶をさしあげたいと思います。

当日は、もっと緊張するかもしれませんのが、一年生から今までやつてきたことを自信にして、全国からいらっしゃる皆さんに心を込めておいしくお茶をさしあげたいと思います。

代表決定戦 九里 1—2 南陽

卓球部

団体戦 第1位

2回戦 九里 3—1 南陽
準決勝 九里 3—0 米商

決勝 九里 3—2 米興
メンバ-

横澤美保 3年(長南)・若笠 瞳 3年(采1)・横山聖子 3年(川1)・齋藤恵 2年(川1)・佐藤千郁子 2年(川1)・遠藤美紀 1年(川1)・高村美知子 1年(長南)

横澤美保 3年(長南)・若笠 瞳 3年(采1)・横山聖子 3年(川1)・齋藤恵 2年(川1)・佐藤千郁子 2年(川1)・遠藤美紀 1年(川1)・高村美知子 1年(長南)

ソフトボール部

第3位

1回戦敗退 九里 0—7× 長井
敗者復活戦 九里 12×—5 荒砥
代表決定戦 九里 2—4 米東

平成十一年度 山形県高等学校総合体育大会

卓球部

団体戦 予選敗退

個人戦 予選敗退

3回戦 九里 3—0 左沢
準決勝 九里 0—3 山学院

団体戦 第3位
個人第23位 佐藤 瑞美(赤湯)

新体操部

個人第14位 佐藤 望美(米沢3)
個人第23位 佐藤 瑞美(赤湯)

バドミントン部

団体戦 1回戦 九里 0—3 山西
個人戦 ダブルス・シングルスとも

4回戦敗退 高村美知子(長井南)
高村美知子(長井南)

シングルス ベスト8 横澤 美保(長井南)
高村美知子(長井南)

ダブルス 我妻 智代(高畠1)
牧野 ゆう 3年(米沢1)

ダブルス 佐藤千郁子 2年(川西1)
高村美知子 1年(長井南)

ダブルス 若笠 瞳・佐藤千郁子組
高村美知子・遠藤 美紀組

ダブルス 第1位 横山 聖子・我妻 智代組
第2位 横澤 美保・齋藤 恵組

ダブルス 第3位 横山 聖子・我妻 智代組
同 奥村美和子・高橋千亞紀組

ダブルス 同上 高村美知子・遠藤 美紀組
同上 奥村美和子・高橋千亞紀組

ダブルス 第1位 横山 聖子・我妻 智代組
ベスト8 奥村美和子・高橋千亞紀組

剣道部

個人戦 2回戦敗退

団体戦 ベスト8

1回戦 九里 25—114 山商

2回戦 九里 0—3 山西

個人戦
シングルス

1回戦敗退

市村 直子(上郷)
椎谷奈緒美(米沢2)

2回戦敗退

海谷 望(米沢2)
椎谷奈緒美(米沢2)

3回戦敗退

渡部 裕絵(米沢2)
松本あい子(采4)

ダブルス

椎谷奈緒美・津山 幸恵組

1回戦敗退

市村 直子・佐藤 亜紀組

2回戦敗退

渡部 裕絵・松本あい子組

3回戦敗退

市村 直子・佐藤 亜紀組

4回戦敗退

渡部 裕絵・松本あい子組

5回戦敗退

市村 直子・佐藤 亜紀組

6回戦敗退

渡部 裕絵・松本あい子組

7回戦敗退

市村 直子・佐藤 亜紀組

8回戦敗退

渡部 裕絵・松本あい子組

9回戦敗退

市村 直子・佐藤 亜紀組

10回戦敗退

渡部 裕絵・松本あい子組

11回戦敗退

市村 直子・佐藤 亜紀組

12回戦敗退

渡部 裕絵・松本あい子組

13回戦敗退

市村 直子・佐藤 亜紀組

14回戦敗退

渡部 裕絵・松本あい子組

15回戦敗退

市村 直子・佐藤 亜紀組

16回戦敗退

渡部 裕絵・松本あい子組

17回戦敗退

市村 直子・佐藤 亜紀組

18回戦敗退

渡部 裕絵・松本あい子組

陸上部

100M

200M

400M

500M

600M

700M

800M

900M

1000M

1100M

1200M

1300M

1400M

